

令和 8 年度(第 36 期)
事業計画及び予算

株式会社 銚子マリーナ

令和 8 年度（第 36 期）事業計画

株式会社銚子マリーナ

項 目	内 容
銚子マリーナ 事業計画の概要	当マリーナは、平成 11 年 4 月の開業以来、マリーナの利用者をはじめ、当施設や周辺地域を活用した各種イベントなどの展開を通じて、多くの来訪者、市民に親しまれ、本市観光拠点の一つとして重要な役割を果たしてきました。 平成 25 年 4 月のリニューアルオープン以降の保管契約艇数は、平成 29 年度末まで緩やかながらも増加傾向にありました。しかし、平成 30 年度末は 8 艇減の 113 艇、令和元年度末も増減なしの契約艇数と横這いで推移。令和 2 年度以降からは、徐々に増加していき令和 7 年度末におきましては、契約艇数 161 艇と、前年より若干の減少がみられますが、契約艇数 160 艇以上を維持しております。引き続き集艇活動に尽力して参ります。 また、契約艇数の増加に伴い安全航行のアナウンス、事故防止につながる機関整備の促進、スタッフのサービス向上を図ってまいります。 令和 8 年度は、集艇活動の継続、並びに海洋レジャーの啓発に繋がる広告宣伝、若年層へのアプローチ等を積極的に発信してまいります。併せまして、マリーナ利用者の永続的な契約を目指し、安全・安心・快適なマリンライフを念頭に施設及び設備のメンテナンスに注力し、更なる、サービス向上を目指した取り組みに精進して参ります。 マリンレジャーの普及及びマリンイベント等への協力に努め、風光明媚なロケーションを生かし、観光拠点として関係機関と連携・協力しながら事業を進めてまいります。

令和8年度（第36期）予 算

〔 令和8年4月 1日から
令和9年3月31日まで 〕

株式会社 銚子マリーナ
(単位：円)

勘 定 科 目	金 額	備 考
売上高	105,261,000	
利用料売上	63,305,000	艇置場利用料・施設利用料・臨時利用料・上下架利用料
その他利用料売上	2,156,000	船台使用料・レンタル艇利用料 ほか
燃料売上	11,500,000	
修理売上	9,800,000	
部品・用品売上	18,500,000	
売上原価	31,265,000	
燃料売上	8,625,000	
修理売上	7,840,000	
部品・用品売上	14,800,000	
売上総利益	73,996,000	
販売促進費計	1,410,000	
交際費	150,000	慶弔費等
広告宣伝費	670,000	雑誌等広告料 ほか
諸会費	330,000	銚子市観光協会年会費、日本マリン事業協会費 ほか
サービス料	200,000	
運送費	60,000	配送料 ほか
人件費計	31,365,000	
給与・諸手当	18,600,000	在籍従業員4名
賞与	4,200,000	
法定福利費	3,590,000	健康保険料、厚生年金保険料、労災保険料 ほか
厚生費	925,000	健康診断・退職保険 ほか
雑給	4,050,000	アルバイト人件費（4名在籍）
一般管理費計	37,190,000	
旅費交通費	870,000	
雑費	920,000	官報掲載料、登記手数料、その他事務所維持費
水道光熱費	5,400,000	電気、ガス、上下水道料金
業務委託費	1,000,000	決算申請手数料、弁護士費用 ほか
リースレンタル料	690,000	社用車リース料他
事務用消耗品費	170,000	
消耗工具備品費	1,400,000	
維持管理費	9,000,000	保守管理費、電気保安手数料、巡回・機械警備業務委託費
修繕費	4,300,000	トラベリフトメンテナンス ほか
通信費	1,030,000	電話料、専用回線使用料
保険料	2,170,000	所有物件・船舶保険料、損害賠償保険料 ほか
減価償却費	9,000,000	トラベリフト ほか
図書研修費	150,000	研修費用ほか
租税公課	1,090,000	固定資産税、印紙税、預金利子税 ほか
経費合計	69,965,000	
営業利益	4,031,000	
雑収入	3,800,000	公園管理料他
営業外支出	1,151,000	寄付金
経常利益	6,680,000	